

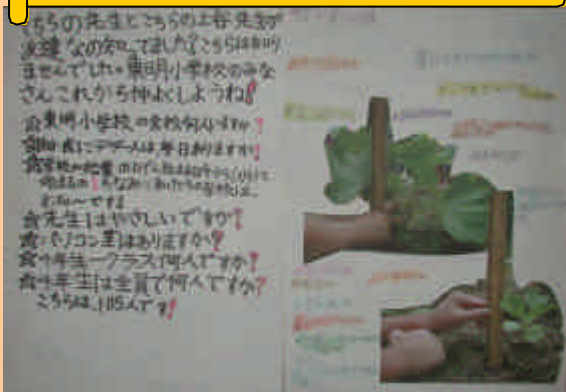
交流相手を限定して、 相手意識を高めよう！

三重県 名張市立百合が丘小学校
上谷典秀
石川県 松任市立東明小学校
中條敏江

2005年の教室では、インターネットが接続され情報環境が整備される。そうすると、異なる地域の教室と教室がつながり、あたかも同じ教室にいるかのごとく共同で学習を進めることができるようになってくる。今まで以上に誰もが交流学习に参加するようになるだろう。子どもたちの発達段階における情報を適切に活用する力の目安も今以上に高く設定されてくると思われる。しかしながら、複数の学校と交流学习をすれば、コミュニケーション力がついたり情報をうまく活用する力が高まったりすると期待するが、そうとばかりは言えない。逆に、交流学校数が多いと相手を意識した学習になりにくいことがある。複数参加するプロジェクトの中でも、**交流相手を限定し相手意識を高めることができたなら、子どもたちの伝え合う意欲が高まり、「受け手の状況などを踏まえて発信・伝達できる能力」が育つのではないかと考えている。**

石川県 東明小学校と 三重県 百合が丘小学校の交流学习

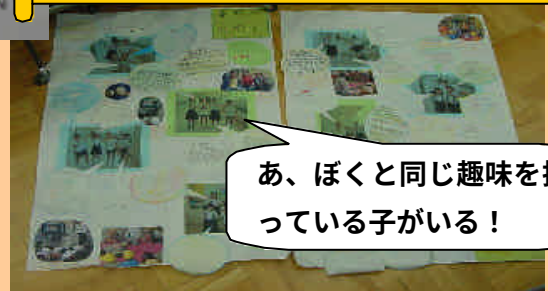
友だち 100 人できるかなプロジェクト
で知り合った東明小学校に送った手紙



ゴーヤや落花生の様子を調べたり、東明小学校に質問したりしたよ。自分たちの写真や自己紹介を載せたハローレターも送ったよ。

掲示板での交流では、なかなか自ら調べようとしなかった子どもたち。ところが東明小という相手がはっきりするとがぜん張りきりだした。

東明小から送られてきたハローレター
趣味やがんばっていることが書かれている



あ、ぼくと同じ趣味を持っている子がいる！

百合が丘小学校から送られてきたハローレターを見ながら話をする東明小の子どもたち



今度はこの子に
メールを出そう

ハローレターのいいところは、模造紙に写真入りで自己紹介が書いてあり、常時、教室に掲示しておくことにより、相手意識が高まりやすいところだ。

東明小からの返事を見ながら、どの質問に答えようか考えている百合小の子どもたち



質問の答えを、次はビデオレターで送ろう

百合小からのビデオレターで県名・市名
当てクイズを楽しむ東明小の子どもたち



すごい！おもしろい組
み合わせのデザートだね。

ビデオレターを送りあい、お互いの学校から寄せ
られた質問や学校所在地の県名・市名を地図帳を
使いながらクイズに答えあった。お互いのことに
興味を持ち、調べながら親近感を高めた。またビ
デオというメディアのよさも学ぶことができた。

TV会議で創作デザート実演して見せてく
れている東明小の子どもたち（TV画面）



楽しそう！
やってみたーい！

時間	言葉
10:10 あいさつ	上谷：こんにちは。今から東明小学校と百合が丘小学校のTV会議です。 上谷：百合が丘小学校4年2組担任の上谷です。よろしくお中 中條：こんにちは。東明小学校4年1組の中條です。 百合小：多田です。青木です。この前のTV会議は、調子 みなさんのデザート とう市（松任市 東明小：あいさ 上谷：まず、は ましよう。2回 てくださいね。 上谷と東明小の 中條：（勝ち残 上谷：東明小のみなさん、ありがとうございました。それで
10:15 じゃんけ んゲーム	

TV会議は時間も限られてお
り、このような台本も大切だ。
教師間の共通理解にもなる。
FAXで送りあった。

百合小の子どもたちが考えたデザートの
イラストを見る東明小の子どもたち



これ、ちょっと
お金かかりすぎ
るんじゃない？



音声がよく通らなかったで携帯電話を使用しながらのTV会議であったが、リ
アルタイムに東明小のデザート実演を見ることができたのは臨場感があり、子ども
たちに交流していることのインパクトが大きかった。この子どもは、最初台本通り
話していたが、雰囲気引き込まれていくと台本から離れ、湧いてきた疑問を自ら
その場で質問し、受け答えをみんなに伝えながらどんどん進行していった。

この後に予定されているオリジナルデザートコンテスト

デザートレシピを相手校
に伝える。自分たちが創作
したデザートのウリは何
なのかをはっきり伝える。



送られてきたレシピを選ぶ
実際に作って審査する。
伝えたい内容を考えて自分
たちが選んだ方法で伝える

相手意識が明確な伝達ができる
→目的意識がはっきりする
→伝える意欲が高まる
→伝える工夫をする
→伝える方法を選ぶ